



by HARMAN

REFLECT FIT

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。

水がかかるところで使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

分解してはいけないことを示す記号です。

指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。

濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

触れてはいけないことを示す記号です。

警告

煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切る。
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。
火災・感電の原因になります。

本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くで使用しない。
引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

分解や改造をしない。
感電の原因になります。

調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所では使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。

交通安全のために自転車やバイク、自動車の運転中に本機を使用しない
周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。

歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない
交通事故の原因となります。

注意

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

- ❶ **電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。**
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- ❷ **電池について以下のことに注意する。**
本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高压容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- ・ 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

- ⚠ **注意**
- ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

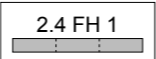
電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解/改造すること。
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

▶ 本機の防水性能について

本製品は、防水規格IPX5相当の仕様となっています。水の噴射を直接浴びても本機に有害な影響がない「防噴流形」です。

※ 完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。

- ※ 付属の充電用ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で充電しないでください。
- ※ 万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- ※ USBコネクタのキャップをしっかりと閉めてご使用ください。

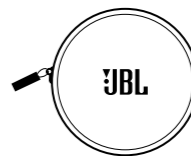
付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

充電用ケーブル（ブラック）



ポーチ



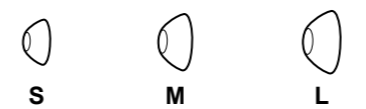
スタビライザー(Sサイズ/Mサイズ/Lサイズ、Mサイズ装着済み)



日本語取扱説明書

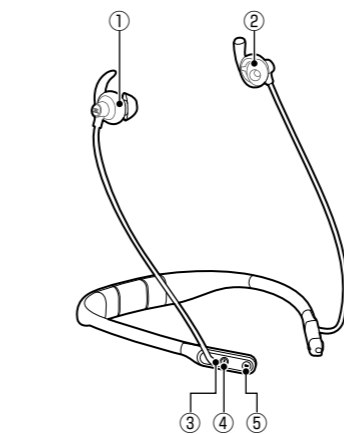
多言語取扱説明書

イヤチップ(Sサイズ/Mサイズ/Lサイズ、Mサイズ装着済み)

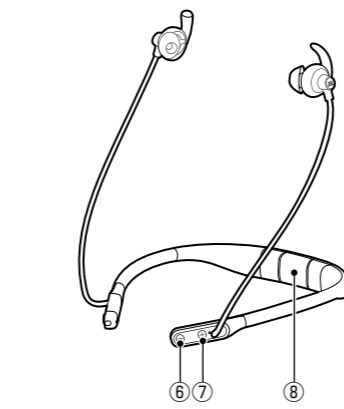


保障書（日本国内用）

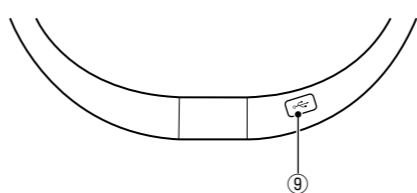
各部の名称



- イヤホン（右）
- イヤホン（左）
- 電源 / Bluetooth インジケータ
- マルチファンクションボタン (①)
- 心拍センサーボタン (♥)



- 音量-ボタン
- 音量+ボタン
- ネックバンド



⑨ USBコネクタ

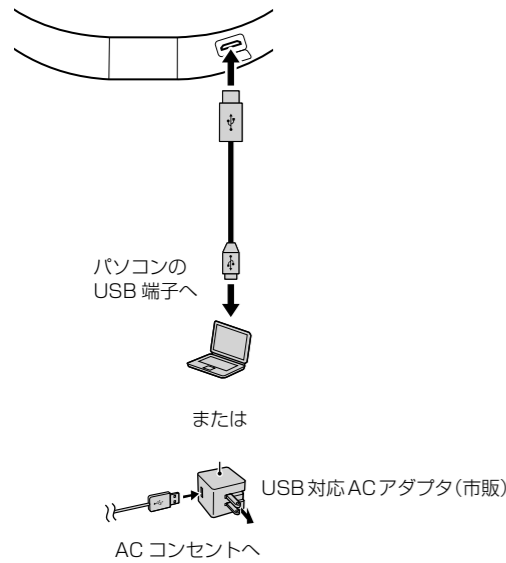
充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。

充電時間は、約 2 時間*です。

* 充電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① 本機の USB コネクタに充電用ケーブルを接続する。
ネックバンド下面にある USB コネクタのキャップを開け、充電用ケーブルを接続します。
- ② 充電用ケーブルを、お手持ちのパソコンの USB 端子に接続する。
または、市販の USB 対応アダプタを使用して、コンセントに接続します。



- 充電中は、電源 / Bluetooth インジケータが赤く点灯します。
充電が完了すると、インジケータが消灯します。
AC アダプタは、5V 1A 以下の市販品をお使いください。
- 本機とパソコンを充電用ケーブルで接続しても、パソコンに保存された楽曲を本機で聞くことはできません。
 - 充電中は本機を使用することはできません。

充電が完了すると

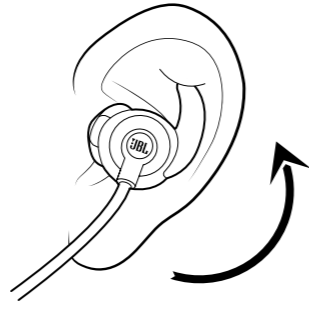
電源 / Bluetooth インジケータが消灯します。
充電用ケーブルを取り外してください。

電池残量について

電池残量が少なくなると電源 / Bluetooth インジケータが赤く点滅します。
電源 / Bluetooth インジケータが赤く点滅したら充電してください。

装着する

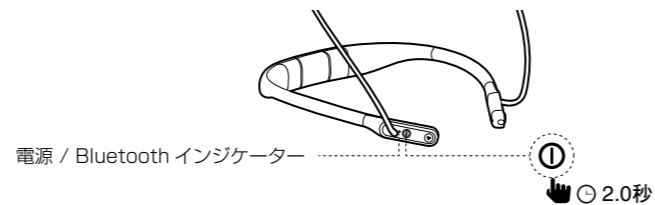
ネックバンドの左右を正しく首に掛け、イヤチップを回しながら耳にフィットするよう装着します。



電源を入れる / 切る

▶ 電源を入れる

マルチファンクションボタン (ⓘ) を、約 2 秒間以上押し続けます。



お買い上げ後はじめて電源を入れた場合：

電源がオンになり、そのまま待つと、Bluetooth のペアリング設定状態になります。
詳しくは「Bluetooth 接続を行う」をご覧ください。

すでに Bluetooth 対応デバイスとペアリング済みの場合：

イヤホンから英語のメッセージ (Power on: 電源オン) が聞こえ、電源がオンになります。
そのまま待つと、Bluetooth デバイスと自動的に接続します。
イヤホンから英語のメッセージ (Audio connected: オーディオ接続完了) が聞こえ、電源 / Bluetooth インジケータが青で 2 回点滅を繰り返します。
※ Bluetooth 対応デバイスの Bluetooth が「オン」になっている必要があります。

▶ 電源を切る

マルチファンクションボタンを、約 2 秒間以上押し続けます。
イヤホンから英語のメッセージ (Power off: 電源オフ) が聞こえ、電源がオフになります。

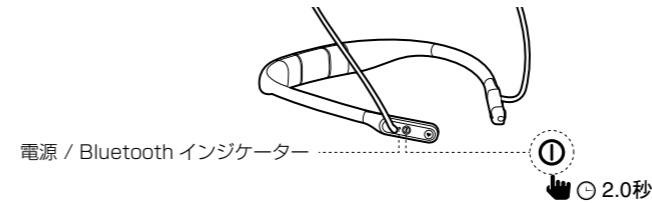
Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① マルチファンクションボタン (ⓘ) を約 2 秒間以上押し続ける。



イヤホンから英語のメッセージ (Power on: 電源オン) が聞こえ、電源がオンになります。

さらに数秒経過すると、英語のメッセージ (Looking for a device: デバイス検索中) が聞こえ、ペアリング設定状態になります。
電源 / Bluetooth インジケータは、赤と青で交互に点滅します。

※ 電源 / Bluetooth インジケータが赤と青で交互に点滅するまで、マルチファンクションボタン (ⓘ) を押し続けても (約 5 秒間以上) かまいません。

- ② デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
ペアリングが完了するとイヤホンから英語のメッセージ (Audio connected: オーディオ接続完了) が聞こえ、電源 / Bluetooth インジケータが青で 2 回点滅を繰り返します。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「JBL Reflect Fit Audio」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



※ Android 端末の場合は、「JBL Reflect Fit Audio」接続後に、画面の表示が「JBL Reflect Fit HRM」に変更となります。

携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」または「ヘッドセット (HSP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
- 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
- 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

その他のデバイス(携帯電話・スマートホンなど)の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
ペアリングが完了すると電子音が鳴り、電源インジケータが青色で点灯します。

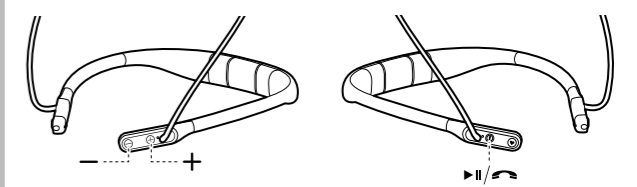
ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起す場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
 - 無線 LAN が構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ 基本操作

Bluetooth 接続中は、ネックバンドのボタンで以下のコントロールを行うことができます。



音量ボタン (+ / -) :

- 押しして音量を調整します。
- 音量 + ボタンを 2 秒以上押し続けると、次の曲にスキップします。
- 音量 - ボタンを 2 秒以上押し続けると、演奏中の曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押し続けると前の曲にバックスキップします。

マルチファンクションボタン (▶ ||) :

- 押すごとに再生 / 一時停止します。

マルチファンクションボタン (◀) :

- 携帯電話・スマートホン Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。
- 着信中に 1 回押すと電話を受けます。約 2 秒以上押し続けると着信拒否します。
- 通話中に 1 回押すと電話を切ります。
- ※ 着信があると、着信音が聞こえるときにもネックバンドが振動します。

▶ Bluetooth 接続を解除する

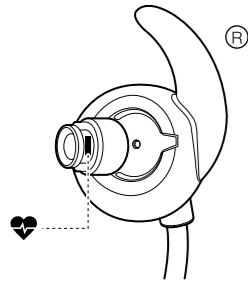
デバイス側で Bluetooth を「オフ」にし、接続を解除します。
電源 / Bluetooth インジケータが青でゆっくり点滅します。

▶ 本機の電源をオフにする

マルチファンクションボタンを、約 2 秒間以上押し続けます。
イヤホンから英語のメッセージ (Power off: 電源オフ) が聞こえ、電源がオフになります。

心拍数を測定する

本機の右イヤホンに心拍センサーが搭載されています。



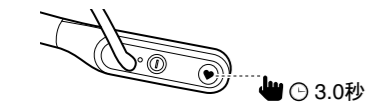
心拍測定機能により、心拍数を測定することができます。

本機は、多くのフィットネスアプリに対応しています。デバイスにインストールしたフィットネスアプリを使用して心拍数を測定する場合は、本機とデバイスを Bluetooth でペアリング*し、アプリを操作してください。

* Bluetooth 設定画面で、「JBL Reflect Fit HRM」との接続が必要となる場合があります。

ここでは、フィットネスアプリを使わずに心拍数を測定する方法を説明します。

- ① 本機の電源を入れ、イヤホンを装着する。
- ② 心拍センサーボタン (♥) を約 3 秒間以上押し続ける。



心拍センサーがオンになり、3つの英語のメッセージが続けて聞こえます (Heart rate sensor on: 心拍センサーオン → Searching for heart rate: 心拍数を検出しています → Calibrating: 測定中)。このとき、心臓の鼓動を模した擬音が聞こえます。(実際の鼓動音ではありません。)

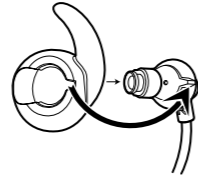
* 右イヤホンが正しく装着されていないと、英語のメッセージ (Insert earbud: イヤホンを装着してください) が聞こえます。イヤホンを装着し、操作をやり直してください。

- ③ そのまま、約 5 秒間待つ。
測定が終了すると、英語のメッセージ (Heart rate detected: 心拍数が検出されました) が聞こえます。
- ④ 心拍センサーボタン (♥) を押す。
心拍数を示すメッセージ (英語) が聞こえます。
例: Ninety seven (心拍数が 97 だった場合)
心拍センサーボタン (♥) を押して、何度でもメッセージを聞くことができます。
- ⑤ 心拍センサーボタン (♥) を約 3 秒間以上押し続ける。
心拍センサーがオフになり、英語のメッセージ (Heart rate disconnected: 心拍検出が解除されました) が聞こえます。

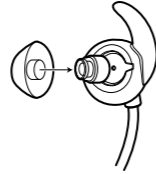
スタビライザー / イヤチップを交換する

使用中のイヤチップとスタビライザーを取りはずし、使用したいスタビライザーとイヤチップを以下のようにして取り付けます。

- ① 使用するスタビライザーを取り付ける。
イヤホン本体の突起部を、スタビライザーの切れ込み部分に合わせて取り付けます。



- ② お使いになるイヤチップを取り付ける。



トラブルシューティング

症状	解決法
マルチファンクションボタン (①) を押し続けても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	音源のデバイスと Bluetooth でペアリングされているかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。

主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 Bluetooth ワイヤレス
周波数特性	10Hz - 22kHz
入力	Bluetooth
Bluetooth	Bluetooth4.2
伝送範囲	Class2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	HFP v1.6、HSP v1.2、A2DP v1.3、AVRCP v1.6
電池	リチウムイオン充電電池
充電時間*	約 2 時間
連続使用時間 (音楽再生時)*	約 10 時間 (急速充電: 約 15 分の充電で約 1 時間使用可能)
質量 (本体のみ)	約 37g

* 電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。充電・再生時間は使用環境によって異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたり、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2018 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

XXXXXXXX